

～コロナ禍の今 できること～

◆防災・減災編◆ 避難を考えましょう

災害の発生により避難者が特定の場所に集中してしまうと、どうしても感染症のリスクが高まります。コロナ禍における避難はどのようなことに気をつけるとよいのでしょうか。この機会に一度考えてみましょう。

1. 避難するときは、分散避難を心がけましょう

災害時においても、なるべく人と人とが接触する機会を減らすことが大切です。感染症流行時の避難先を考える際、水害による浸水や地震による津波、家屋倒壊の危険性がない場合には、自宅、知人や親戚宅、宿泊施設など、避難先を可能な限り分散させて、密集しないように注意しましょう。

2. 感染防止のために必要なモノを準備しましょう

非常持ち出し品を準備しているご家庭も多いと思いますが、季節ごとに内容品の見直しをしていますか？感染防止の観点からは、マスク、手指消毒液、体温計、スリッパ等を準備しておくことが大切です。避難所で必ず配布されるわけではないので、これらのグッズも非常持ち出し袋に入れておくといでしょう。

3. 感染防止のための生活ルールを徹底しましょう

密閉・密集・密接のいわゆる「3密」を避ける、マスクを着用する、そして手洗い消毒を欠かさないことに加え、次のことにも気をつけましょう。

- ・無意識に目・鼻・口を触らない
- ・食器やタオルをなるべく他人と共用しない
- ・床付近の感染リスクに注意する（くしゃみなどによる飛沫は床に残りやすい）
- ・ふたのあるトイレでは、ふたを閉めて流す
- ・ゴミは各家庭で密閉して廃棄

上記は一例ですが、これらのルールを事前に認識し、運営者に積極的に協力を。



令和2年7月豪雨における避難所の様子。収容定員を制限し、避難スペースの間隔をとっていることが分かる。

過去の災害でも、避難所で実際に感染症が流行しています。東日本大震災では岩手県内の避難所で数十人規模のインフルエンザ患者が、熊本地震でもノロウイルスやインフルエンザ患者が発生しました。避難生活時、感染リスクは通常の生活と比べて高まることを十分に理解し、明日起こるかもしれない災害に備えましょう。



JRC高校生
メンバーが企画!

◆人とのつながり編◆ 赤十字愛の手紙 ～高齢者に手紙で想いを届けよう～

日本赤十字社大分県支部では、例年12月に、大分・別府地区の青少年赤十字高校生メンバーによる餅つきを行い、ひとり暮らしの高齢者についた餅を届けるという行事を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止に。そのような中でも何かできないかとメンバー達が考えた結果、ひとり暮らしをしている高齢者に少しでも温かい気持ちでお正月を迎えていただくために、メンバーそれぞれが手紙を書くという活動を行うこととなりました。

手紙はそれぞれの高校で書き、集まった手紙は日赤の担当者が地区の民生委員の皆様に配布を依頼するという方法で行われ、配られた手紙の枚数は218通、106名の高校生メンバーの参加がありました。

今回は、高齢者へ直接手紙を渡すことができませんでしたが、手紙を読まれた方が、書いた高校生にお礼の返信をするなどの交流もあり、それぞれの想いをしっかりと伝えることができた活動となりました。



高校生メンバーの代表

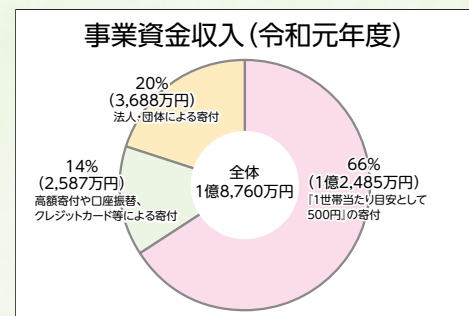


手紙の準備や仕分けもJRCメンバーが行いました

赤十字のギモン解決！

Q 日赤大分県支部の事業資金はどこから??

A すべて寄付です！国や県からの補助などは、ありません。



1年間で受け付ける寄付の約66%は、自治体を通していただく『1世帯当たり目安として500円』のご協力。約14%は、20万円以上の高額寄付や支部が直接受け付けるもの、残りの約20%は、法人や団体様からいただくご寄付で成り立っています。こうしたご厚意を、多岐にわたる赤十字特有の事業で県民の皆様にお返ししていくことが我々の使命です。

今年度、ご支援をいただいた団体・法人様をほんの一部で紹介します。



(一社)生命保険協会大分県協会様
日頃より献血事業にもご協力をいただいているご縁で、多額のご寄付を寄せられました。



(公社)大分法人会様
チャリティー募金を赤十字へお寄せ下さいました。



(株)大分フットボールクラブ様(大分トリニータ)
Tシャツの売上金やクラウドファンディングの一部を赤十字への寄付と令和2年7月豪雨災害義援金として寄せられました。

Q 赤十字への義援金は、手数料がとられて被災者に届くの？

A 手数料は取らず、全額を被災者へお届けしています。

義援金は、大分県に設置された「義援金配分委員会」で配分を決定しています。赤十字も配分委員会のメンバーです。募集の広報や振込用紙などを作成する経費は日赤が負担し、送金にかかる手数料は、金融機関のご厚意で、免除してもらえる場合がほとんどです。多方面でご理解とご協力をいただいています。

義援金にご協力をいただいた団体・法人様をほんの一部で紹介します。



別府鶴見丘高校図書委員会様
チャリティーバザーで集めたお金を毎年、義援金として赤十字へ届けてくれています。



大分県建設機械レンタル協会様
チャリティー募金を毎年、義援金としてご支援いただいています。



(株)大分放送様
『備えるチカラ～OBS減災・防災キャンペーン』として集めた浄財をお寄せくださいました。